

# 高山市平和都市宣言記念事業 私たちの平和への思い



久々野中学校3年生



寺地亮平さん



市民の皆さんが平和への思いを共有し、平和への取り組みを進めていく契機とするため、今年3月に実施した「高山市平和都市宣言」の記念事業を8月1日に市民文化会館で開催しました。

当日は、高山市平和都市宣言推進会議会長の黒木正之くろきまさゆきさんから「平和都市宣言を大切に次世代へ引き継ぎ、平和のために自分ができることを考え、行動していきましょう」とメッセージがあり、続いて平和への思いが発表されました。その内容をまとめましたのでご覧ください。



朝目中学校3年生



東山中学校3年生

問合せ先 協働推進課 ☎35-3412

## ■平和と文化～高山祭を通じて～ 高山屋台保存会理事 寺地亮平さん



昨年12月に高山祭の屋台行事がユネスコ無形文化遺産に登録されました。全国の祭りのなかには、戦火に焼かれ、消え去ったものもあると聞きます。私たちは、高山祭が引き継がれていることに心から感謝しています。

今年5月には、飛騨一宮水無神社で「飛騨の大祭」がありました。この起源は、江戸時代の農民一揆で荒廃した社殿の大造営を終え、飛騨中の神様がお集まりになって、地域の発展を祈念したと伝えられています。祭りは打ちひしがれた心を解放し人々に笑顔を与え、地域の絆を大きくして、皆さんの力になっています。

私たちは、高山で生まれ、育ったことに感謝し、伝統文化を守り続けていることを誇りに思いながら、未来に託していかなければならないと思っています。

「高山市平和都市宣言」にも、伝統文化を守り続けるとありますので、このことを心から皆さんにお願いしたいです。高山祭や地域のお祭りを未来永劫、続けていけるよう、みんなで協力していきましょう。

## ■PEACE～平和を感じ、未来へつなぐ～ 日枝中学校3年生

「PEACE～平和を感じ、未来へつなぐ～」というテーマのもと一年間、平和学習を行ってきました。私たちは、志願して日本海軍特攻隊に入った小峠良三さんに話を聞きました。命を落としていく戦友に、自分だけ生きていてよいのかと罪悪感を覚えたそうです。国のために命を捧げ、生きることに罪悪感を覚える。そんな世界は間違っていると思います。

広島市での修学旅行で、平和な生活が一瞬で失われることを恐ろしく感じました。私たちは広島市で平和な未来を誓い、自分たちが学んだことを他の誰かへ伝えようとしています。

広島市の平和記念公園にある原爆死没者慰霊碑には「安らかに眠って下さい 過ちは繰返ませぬから」と刻まれています。私たちは「過ちは繰返させぬから」の主語は誰なのかについて議論しました。「広島で起こったことを世界中の人が知らないようにとの願いがあると思う」「日本人だけが平和を誓っても戦争はなくなる。主語は世界中の人じゃないか」…私たちは「全人類みんなで平和について考えなくては、戦争はなくなる」「平和な未来をつくっていくのは、今を生きる私たちである」という誓いを心の中に刻みました。

戦後72年が経ちますが、今も世界各地で紛争が起きています。私たちは、これからも平和な社会を求め続け、生きていきたいと思っています。

